

第2回野洲市交通ネットワーク構想検討委員会 ～議事概要～

日時：平成24年11月14日（水）9：30～11：10

場所：野洲市役所本館3階 第1委員会室

■議事次第

1 開会、あいさつ	
2 議事 (1) 野洲市における交通の課題と対応方針について 資料1、資料2、資料3-1、資料3-2 (2) 今後のスケジュールについて 資料3-2	第1回検討委員会の内容確認、及び資料の補足説明を行った後、課題と対応方針について説明を行った。
3 その他	
4 閉会	

■参加者

	氏名	所属等	備考
委員	中川 大	京都大学大学院工学研究科教授	(委員長)
	松永 諭	野洲市商工会副会長	(副委員長)
	永田 征二	野洲市自治連合会会長	
	谷 とよ子	守山野洲交通安全協会女性部	
	田中 貢	国土交通省近畿地方整備局道路部 地域道路調整官	
	徳島 英和	滋賀県 南部土木事務所長	
	松家 昌雄	守山警察署 交通課長	
	仲江 九二孝	湖南広域消防局 東消防署長	
	川端 和夫	野洲工業会 オリベスト株式会社	
	樋口 俊助	社団法人滋賀県バス協会 専務理事	欠席
	木村 靖	貸切バス業務 びわこ観光バス株式会社	
事務局	野洲市長 山仲 善彰		
	野洲市都市建設部道路河川課 国県事業対策室		
	同 政策調整部企画調整課		
	同 市民部生活安全課		

委員会風景写真



■議事概要

2 議事
(1) 野洲市における交通の課題と対応方針について 資料3-2、資料1、資料2により、第1回検討委員会の内容確認、及び資料の補足説明を行った後、資料3-1により課題と対応方針について説明を行った。
(2) 今後のスケジュールについて 資料3-2により、第3回以降のスケジュールについて事務局から説明を行った。

委員による意見交換 (1) 野洲市の交通の現状について
<p>1-1・まちづくりについて、市の将来都市像を見据えて考える必要がある。</p> <p>野洲市総合計画では、目指すべき都市像として『豊かな自然と歴史に恵まれた にぎわいとやすらぎのあるまち』と書かれており、改訂が進められている都市計画マスタープランでも、将来都市像の案として『快適な都市と豊かな自然が調和した にぎわいとやすらぎのあるまち』ということが掲げられている。市の将来像をイメージしながら、現状、課題、対応方針を議論する必要がある。</p> <p>資料3-2の1.～3.についてはハード面の性格が強く、4.は全般に作用する。4.の交通全般に対する事項はもう少し内容を広げ、タイトルも工夫する必要があるのでは。1～3は内容を横糸で結びつけるような工夫が必要。地域活性化の推進という視点も必要ではないか。</p> <p>内容の項目立てとしては、</p> <ul style="list-style-type: none">I 地球環境の保全II 地域活性化の推進<ul style="list-style-type: none">① 地域の連携と交流の促進（合併市町内の中心地や公共施設などの拠点を結ぶアクセスの確保）② ネットワークの整備③ 複数の交通機関の連携強化（鉄道、バスなどのダイヤ）④ 物流交通環境の整備III 安全で安心な社会の構築 <p>これについては資料（新聞記事）を持ってきたので参考にさせていただきたい。市内に多くの企業が立地しており、物流を意識して考えることが必要。</p> <ul style="list-style-type: none">⑤ 歴史も含めた観光の面の切り口も必要（三上山や銅鐸、家棟川、琵琶湖など）。自転車道の再整備なども。 <p>ユニバーサルデザインへの取り組み、通学路の確保、地形を考慮して耐震化、液状化への対策も必要ではないか。</p> <p style="text-align: right;">(A委員)</p>

<p>1-2・新駅設置について、設置の可能性はあるが、請願駅では地元負担が大きい。単に宅地開発といったものだけでなく、JRが自身で新駅をつくるようにもっていきたい。</p> <p>・もっともなご意見を頂戴した。すべてが連動しており、資料3-2の4.については全体につなぐ必要があるかと思う。人とモノの移動、ハードとソフトの連携等も含め、第3回の委員会の際に資料として提示させていただく際に盛り込む。</p> <p>コンテナの拠点ができる、製造現場に近い拠点として生かしていきたい。</p> <p>県道整備が遅れていることもあり、近江大橋の上が駐車場化してしまっている感じもある。有料継続が不可能となり、もっと交通量が増えると予測できる。やはり国道8号バイパスやスマートインターの設置が必要となってくる。</p> <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
<p>2-1・観光面も構想に盛り込んでいくということによろしいか。</p> <p style="text-align: right;">(B委員)</p>
<p>2-2・そのようにさせていただく。</p> <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
<p>3-1・構想として取りまとめる際に、市民の皆さんにお示しする場合、絵や図に表すことも必要ではないか。</p> <p style="text-align: right;">(B委員)</p>
<p>3-2・最終的に構想としてまとめる際には、図化、色分けしたものを用意させていただきたい。</p> <p>また、第4回の委員会の際には、今後の道路交通網整備に当たってもご意見を頂戴したく、路線図等用意させていただく。</p> <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
<p>4-1・将来交通量をどのように見込んでいるのか。現状と課題についても、どこが渋滞しているのか、道路を整備することによりどこがどれだけ早くなるのか、分かりやすく明示してほしい。</p> <p>渋滞箇所の写真や図化、データについても示す必要がある。</p> <p style="text-align: right;">(C委員)</p>
<p>4-2・交通センサス等のデータを明示する。</p> <p>渋滞箇所の写真等も必要かと思うので、素案の中に入れていきたい。</p> <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
<p>5-1・集落内の道路についても、狭い箇所などの写真を入れられればよい。</p> <p style="text-align: right;">(C委員)</p>
<p>5-2・前回の資料も活用しながら素案に盛り込む。</p> <p>・市内の国道・県道の整備が遅れていることも影響している。 30年経過しても整備できていない道路があり、こうした道路の整備が必要で</p>

<p>ある。国道、県道の渋滞に市民は半ばあきらめかけている。</p> <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
<p>5-3・こうした状況についても数字で示していただけるとありがたい。</p> <p style="text-align: right;">(B委員)</p>
<p>6-1・通学路の問題については、亀岡での事件もありマスコミでもよく取り上げられている。</p> <p>根本的な解決には理念の問題もある。細い道を無理して拡幅するのが本当に良いのか。幹線道路を整備し、生活道路は市民へ返す必要もある。</p> <p>また、広い道を整備しても、安全面を心配されて通らない。そのあたりも含めて議論しないといけない。</p> <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
<p>6-2・通過交通が入り込まない工夫も必要である。</p> <p>海外では、ライジングボラード(※自動昇降型の車止め)の設置などの先進的な取り組みもある。</p> <p style="text-align: right;">(B委員)</p>
<p>7-1・新幹線の新駅について、「市長への手紙」への回答があったが、もう少し詳しく説明をしていただけないか。</p> <p style="text-align: right;">(D委員)</p>
<p>7-2・新幹線新駅設置の必要性について、滋賀県知事の発言を受けてのご意見があり、それに対して回答をしたもの。</p> <p>新駅については、昔から設置の案はあったのでその可能性は高いと考えているが、もともと栗東市の新幹線新駅設置に向けて、近隣市と協議会を立ちあげて活動していた経緯があり、知事の発言を受けたから議論すべきものではないという意味で、筋道を立てて、展望を持ってやっていきたいと考える。</p> <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
<p>8-1・JR野洲駅は、野洲発・野洲止まりがあることから近隣の近江八幡市や竜王町からの利用もある。</p> <p>病院の整備などの話もあるが、周辺からのアクセスについて、道路拡張などの対策も必要。</p> <p style="text-align: right;">(E委員)</p>
<p>8-2・駅前広場については現在整備・計画を進めている。病院の必要性については、12月にその判断を行う。</p> <p>アクセス道路の整備については、5年・10年では難しいが、広域的な取り組みが必要となってくる。</p> <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
<p>8-3・「結節点」という表現は少し分かりにくいかもしれない。</p> <p style="text-align: right;">(B委員)</p>
<p>9・資料中「取り組みを行う。」とする表現についてはもう少しメリハリをつけてはどうか。</p> <p>継続的なのか、変化をつけるのか、強化していくのか。</p> <p style="text-align: right;">(B委員)</p>

10・パブリックコメントについては、市民の生の声を反映したい。 (事務局)
11・生活道路については、安全面を強調してほしい。 (E委員)
12-1・「観光」を構想に加えることについて、どのようなイメージになるか。 野洲市を中心とした観光パンフレットは個人向けで、ツアー会社などにも分かりやすいようにしてほしい。 例えば、京都へのアクセスはよいが、そこから滋賀へとなると、大手のツアー会社ではプランを組みにくい。 希望が丘や近江富士花緑公園、琵琶湖という良いものがあるにもかかわらず、そこへのアクセスに問題がある。 (F委員)
12-2・市のほうで「商工業振興指針」をつくったが、それとの組み合わせも視野に入れたい。 多くを盛り込むことはできないが、観光という視点については入れていきたい。 (事務局)
13-1・市民のニーズやアクションがあつて、構想、計画、実現へとつながるので、パブリックコメントだけでなく、例えば野洲駅の通勤・通学者や、ショッピングセンターの買い物客に対する意識調査を実施するなど、踏まえたかたちでつくり上げていきたい。 (事務局)
13-2・パブリックコメントにすると、なかなか意見を出しにくい面もあるので。 (B委員)

委員による意見交換 (2) 今後のスケジュールについて

14-1・野洲市の道路整備の計画について、例えば滋賀県では道路整備のアクションプログラムを作成しているが、そうしたイメージのものでよいか。 タイムスケジュールについてはどのようになるか。 (A委員)
14-2・ネットワーク構想で得られる広域交通、地域交通の路線に市道としてどうアクセスしていけば渋滞解消になるのか、また、安全対策をどう講じればよいかということに対し、整備方針や路線名を特定し5か年の整備計画をつくっていききたいと考えている。 (事務局)

■今後の予定

・第3回の検討委員会は、12月25日(火)の開催とさせていただきます。

